

# 平成 28 年度 つむぎ高梁

## 事業報告書

【事業所責任者：佐分利 真夕】

### (1) 基本方針と運営実績（管理者）

保護者とのコミュニケーションを大切に、保護者の要望を反映させた通所支援計画の作成ができています。また、多様なニーズが出てくる中で個人的に、オプションサービスを取り入れることもあり、個々のニーズに寄り添うことができています。

保育所等訪問（スクラム・移行（就園・就学）会議等を含む）では、前年度に引き続き、大変好感触であり、保育園から個別に相談が入るケース（契約児以外も含む）も増えてきた。児童発達支援事業と放課後等デイサービスにてそれぞれのSLを配置したことにより、組織としての動きがはっきりし、働きやすくなっている。多機能事業所の為複雑になることもあるが、両事業で連携をとりながら運営できている。また、年度末に2Fを改築したことにより、放課後等デイサービスを一括化することができた。利用児の動きも観やすくなっている。

職場の雰囲気はよく、一緒に働くスタッフを気遣うこともできている。

運営実績に関しては、利用契約者が増え、年度途中で20人定員に変更した。28年度の目標件数は達成している。

### (2) 事業所(療育部門)運営方針と運営実績 《児童発達支援 花巻SL》

#### ①利用者の幸せの追求

(ア) 根拠に沿った発達支援のスキルの向上（太田ステージ・人との関わりレベルシート・視覚認知トレーニング）

→個別支援計画書に沿って花巻SL、佐々木補佐、森が認知発達課題に取り組んだ。実践経験を積む中で発達支援スキルの向上が見られた。アセスメントツールはヴァインランドから幼児に特化したKIDSへ変更した。

(イ) じゃんぷ活動（4,5歳児）の整備

→9月より午後療育となる年中、年長のじゃんぷクラスを実施した。具体的な活動内容、時間設定を作成した。年中年長児に必要なワーク、小集団（ソーシャルスキルトレーニング、ルールのあるゲーム、制作）での取り組める活動、公園遊びを実施した。

(ウ) 遊び支援の充実（プレイエリア）

→プレイエリアの玩具は2週間に1回程度変更した。玩具変更により児の興味関心の広がり、職員の遊びの充実が見られた。課題として遊び方の研修を行っていききたい。

(エ) ペアレントトレーニングの導入

→佐分利理事長によるペアレントトレーニングを行っている。課題として他職員が実施していきけるようにSL職員の研修を行っていききたい。

(オ) 職員研修の実施（救急法、虐待防止、ケース会議等）

→救急法、OJTに応じて虐待防止、プラン変更に伴うケース会議、DVD回覧、ハッピーサークル主催の勉強会を実施している。

## ②組織安定と発展の追求

### (ア) 目標管理活動の整備

→目標管理活動職員は必要な目標に沿って仕事へ取り組んだ。OJT職員は年度末に状況を再確認し、次年度からは目標管理活動となる。課題としてアドバイザーのチェック月を定めていきたい。

### (イ) ホームページの作成

→ホームページ依頼を行い、作成まで完了している。課題としてホームページの閲覧に向けた準備、フェイスブックの作成を進めていきたい。

### (ウ) 安全チェック表の整備

→各職員が月に1度の安全チェック表を実施した。危険個所の把握、整理整頓が出来た。課題としてチェック日の遅れがあった。各職員の意識付けを高めていきたい。

### (エ) 自主点検表の実施（児童発達支援事業、放課後デイサービス）

→今年度は自主点検表の実施は出来ていない。次年度はチェック月を策定する。

## ③つどう人の幸せの追求

### (ア) 職員親睦会の開催

→新人職員親睦会を5月、職員親睦会を9月、職員家族親睦会を12月、年3回実施した。時期、内容共に達成と言える。

### (イ) 親の会親睦会の開催

→保護者親睦会を3月に実施した。おやじの会の主催も考える。

### (ウ) ハッピーサークルの組織化

→保護者の運営による親の会の組織化をバックアップした。色々と試行錯誤しながらも茶話会や家族交流イベントをする中で、会員数も広がりつつある。幼児期の保護者はまだ入会率が低い。また、立ち上げ記念と発達障害の啓発活動として、3月に笹森理絵さんや親の会の先輩方を招いて講演会を実施した。約160名の参加を実現し、参加者からは大変好評であった。今後は、会員の輪を広げていく、関係機関や行政等の連携等が課題になると思われる。来年度からは事務局として、携わっていく。

## (3) 事業所(地域部門)運営方針と運営実績 《放課後等デイサービス 渡邊SL》

### ①利用者の幸せの追求

#### (ア) 保育所等訪問支援を通じた、園や学校との支援計画の共有化

→保育所等訪問の記録を所属機関へ提供した。

#### (イ) ケース会議への参加を通じた家庭・所属機関との情報共有と支援の充実

→必要に応じて、スクラム会議・移行会議へ参加した。

#### (ウ) 成人期支援の充実（SST及び認知発達支援の実施）

→SST・コグトレに取り組んだ。作業途中に息抜きのような形で無理のないように実施した。

## ②組織安定と発展の追求

### (ア) 地域に根差した保育所等訪問支援の実施

→14園15校へ訪問した。訪問支援に対して理解してくださる機関が増えた。契約児以外の相談

や支援のアドバイスを求められることも増えている。

契約児がいないため訪問していない園・小は、有漢東小、松原小、宇治小、富家小、中井小、備中保、玉川幼、高梁幼、津川幼、中井幼

(イ) 人とかかわり支援・遊びの支援を通した職員の育成

→4月当初は、研修の重点項目を遊びの支援としていたが、途中からワークの支援へ変更した。

コグトレ課題が実施できる職員が4名となった。予定していた保護者申し送りの研修については遊びに関することは実施できている。ワークや特性に関する内容はできていない。

(ウ) 利用者所属機関の長期休業期間の日中一時事業（預かり）体制の確立

→冬休みから、午前の時間が日中一時事業から放デイ事業へ変更。小集団活動を実施した。

1日のスケジュールがほぼ確立できてきた。

(エ) 自主点検表の実施（保育所等訪問支援）

→岡山市作成の自主点検表を活用して実施した。点検が不十分な項目があった。

**③つどう人の幸せの追求**

(ア) 地域への奉仕活動

→地区の溝掃除に参加した。

(イ) 成人利用者の土曜日活動受け入れ体制の整備

→ゆめつむぎ利用者の参加が2回あった。相談機関と連携して、参加要望のある方につむぎ通信を送った。

(ウ) ボランティアの募集と育成

→現在の登録者数が24名となっている。定期的に2名のボランティアがあった。

ボランティア活動の振り返りシートを作成し、実施した。

**(4) 年間行事（児発・放デイ・日中一時）**

① ご利用者向け

行 事	計 画	実績と内容
保護者向け	10月、12月、1月 3月	ハッピーサークル主催（事務局として）の座談会・家族交流イベント・講演会を実施
親子遠足	5月	児童発達支援事業にて初めて実施
保護者との親睦会	3月実施	前年度より恒例の親睦会を実施

② 職 員

行 事	計 画	実績と内容
ケースカンファレンス	随時	通所計画作成時をベースにCの状況、目標設定の共通理解を図る

自己啓発研修	戦略会議時（月 1 回）	理事長発信のDVD、参考本等の回覧を実施
救急法	6 月	AED 導入により、救急心肺蘇生法のレクチャーを受ける（サニクリーンへ依頼）
職員親睦会	5 月、9 月、1 月	前年度と同様スケジュールで親睦会を実施。初めて家族親睦会も実施する

# 平成 28 年度 たかはし地域生活支援センター

## 【事業報告書】

【事業所責任者：佐分利 尚孝】

### (1) 基本方針と運営実績

保健師からの困難ケースや高等学校からの移行のケースが増加してきており、地域の中で選ばれる相談支援事業所として確立されつつある。

今後も利用者のニーズに寄り添っていきながら、関係機関とのつながりを大切にしていき、相談支援事業所の機能の向上、充実に努めたい。

### (2) 事業所運営方針と運営実績

#### ① 利用者の幸せの追求

親支援プログラムとして、ペアレントプログラムを実施。

※平成 28 年 4 月から実施

・地域移行 1 ケース ・地域定着 2 ケース

高梁市の課題について 就労支援 地域生活拠点整備について

#### ② 組織の安定と発展の追求

意見、苦情、要望制度、安全チェックの実施。

指定障害福祉サービス事業者自主点検の実施により洗い出された課題を解決していく取り組みを実施していきたい。

#### ③ つどう人の幸せの追求

たかはし障害者総合相談センター開設に向けての協議。

定時制高等学校との連携会議 学期に一度程度。

たかはし地域生活支援センター 2 日/週 木曜日、金曜日 派遣。